

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・地方都市でも、ボーナス支給、お中元商戦、夏休み帰省客の飲食店での消費が見込まれ、8月中旬までの景気は維持される。
		百貨店（売場担当）	・6月から2回目のクールビズが始動し、紳士衣料・雑貨などの動きが活発化するとともに、賞与水準も上昇が予想され、消費行動も活発化する。
		乗用車販売店（営業担当）	・6月、7月はボーナスシーズンに入るとともに、新商品が6月19日に発表されることから良くなる。
		通信会社（企画担当）	・新商品のラインナップが出そうことや、ボーナスシーズンが到来することから、景気はやや上向きになる。
		通信会社（営業担当）	・新商品、新サービスの開始により、新たな需要の掘り起こしができる。
		ゴルフ場（従業員） 設計事務所（所長）	・来場者も増加し、予約も順調である。 ・建材の値段が、若干上昇し始めている。
	変わらない	商店街（代表者）	・消費者に購買意欲が見られず、商店の景気には影響ない。
		商店街（代表者）	・商店街内の大型店跡地に新しい動きが出てきたことや、まちづくり三法の改正が国会を通過したこと等により、商店主が明るくなった。商店街の景気自体も底を打った。
		スーパー（店長）	・石油値上げで、悪くなる業種と、良くなる業種の差が激しくなる。全体的には景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・第三のビールの値上げ、7月からのタバコの値上げと価格の上昇が続き、値上げ金額分が節約に回る。
		スーパー（店長）	・雨が多く、気温が上昇しないため、夏物の売行きが伸びない。
		スーパー（財務担当）	・天候、気温の影響で、果菜類が品不足気味となり、価格も3月の底値に比べると上昇している。このまま梅雨に入ってしまうと、品不足・価格とも心配である。
		衣料品専門店（経営者）	・6月はボーナス月に入り、梅雨も大雨でない限り、今まで買っていない分、相当需要が残っていると期待している。ただし、気温・天候にかなり左右されるのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・現状の景気は天候次第で簡単に前年割れに落ち込むもろさがある。購買力の底堅さが感じられない。
		家電量販店（営業担当）	・季節商品の動きに期待していきたいが、年々商品単価が低下していることもあり、すぐに期待通りの数字になるのは難しい。
		乗用車販売店（従業員）	・先行きの景気が変わる要因が見つからない。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が今も伸びない。
		一般レストラン（経営者）	・仕事量が増えたとか、売上が上昇しているような話は、全く聞かれず、暗い話のほうが多い。
		都市型ホテル（経営者）	・先行きの予約はあまり芳しくない。
やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・この地方は車社会であり、いろいろな市場の値上がりがかかり影響していることが、客の動きからうかがえる。	
	百貨店（営業担当）	・ファッション関連売場に活気がなく、来店客も減少している。また、高額商品の販売点数も前年比減となっている。	
	コンビニ（エリア担当）	・4・5月の客の様子は、天候が悪かったせいもあり、消費意欲がおう盛とは思えない。夏に向けても消費意欲が拡大していくとは感じない。	
	衣料品専門店（経営者）	・原油高による各種の値上げが発生し始めており、買い控えが出る。	
	乗用車販売店（従業員）	・原油高の関連業界への打撃は大きい。商品の値上げによる購買動向への影響はこの先不透明で、早急な対策を望む。	
	その他専門店〔CD〕（店員）	・原油の高騰で物価が全体的に上がっていくと、趣味の商品に対する消費は落ち込んでゆく。	
	タクシー運転手	・6月は梅雨入りで、昼の客足が良いが、夜の客足は悪くなる。7、8月は、天気が回復すればビアガーデン等での出入りがあるが、スナック等まで足を運ぶ客は少ない。	
	設計事務所（職員）	・夏、秋にかけて、他者との競争が始まり、それに伴い、単価の下落等が予想される。	

	悪くなる	一般小売店〔生花〕 (経営者)	・5月がピークなので、3か月先は今よりは悪い。販売場所が増えているので、1店当たりの売上は、減少している。零細企業は厳しい状況が続いており、我々もスーパーや大型店の進出にかなり困っている。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	木材木製品製造業(経営者)	・7・8月には、季節要因とともに、着工数も増え、受注量が増加する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	・家庭紙の市況が活発になり、また新商品の売上が好調と becoming.
		電気機械器具製造業(経営者)	・健康食品関係の装置の引き合いがある。また、それに関連する周辺部門の引き合いもかなり増えてくる。
		建設業(経営者) 通信業(営業担当)	・工事の見積依頼等の問い合わせが多くなった。 ・夏のレジャーシーズンに向かうこと、企業の業績も昨年より上向していること、夏のボーナスも支給されることなどから昨年までに比べて個人消費が伸び、全体の景気を持ち上げる。
		不動産業(経営者)	・建売業者・分譲業者の客が非常に多い。それに見合う物件が非常に少なく、少し価格が上昇していく。
		広告代理店(経営者)	・しばらくはフリーペーパー関係の商材が活発に動く。
変わらない	繊維工業(経営者)	・百貨店・量販店の売場では、ギフト需要が伸び悩んでいる。	
	一般機械器具製造業(経理担当)	・西日本地区のクレーン関係の工事は、地域によっては増加しており、パブル期以上である。この状態は長期間続く。	
	輸送業(役員)	・原油価格の高騰が続いており、消費は更に悪化し、今より良くなることはない。	
	広告代理店(経営者)	・広告出稿が多かった遊戯関係の得意先も、他業種と同様全国ネットの競合他社が参入、また、数店舗出店見込みのため広告予算の見直しが出ており、今後の見通しが不透明である。	
	公認会計士	・景気の動向に疑問を持ち始めてきている客が増えてきているように感じる。	
	やや悪くなる	一般機械器具製造業(経理担当)	・部材高騰による製品価格への影響が出る。
	悪くなる	建設業(総務担当)	・地場の土木建設業者は、し烈な競争を展開している。今後、貸出金利の上昇があれば、経営破たん先がかなり出る。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社(編集者)	・これから求人も活性化してくるので、やや良くなると判断する。特に造船業を中心とした製造業の新規求人に期待がもてる。
		職業安定所(職員)	・対前年同月比で新規求人数は増加傾向にあり、新規求職者数は減少傾向にある。雇用情勢は改善の方向に向かっている。
	変わらない	人材派遣会社(支店長)	・家電量販店がたくさんでき、そこで働く人の需要はあるが、当社は販売系の仕事はしていないので、変わらない。
		新聞社〔求人広告〕(担当者)	・街中も、新しい建物が全く建っておらず、新規開店用に店を改造しているというのほとんどみられない。購買意欲もなく、悪いままで変わらない。
		民間職業紹介機関(所長)	・今年度になり、求人登録者数、求人企業数ともに前年並みが続いている。
	やや悪くなる	職業安定所(職員)	・不安定な雇用が拡大されつつあり、生活基盤が弱くなっている。
	悪くなる	-	-